

競技上の注意事項

1. 本大会は2026年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則により行う。
試合は、21点先取の3セットマッチで行い、3セット目は15点先取とする。
また、各セットとも、給水のためのタイムアウト(WTO:ウォータータイムアウト)を採用する。第1・2セットはリードするチームが11点目に達したとき、第3セットはリードするチームが8点目に達したときに、チェンジコート後30秒間のWTOが自動的に適用される。
※チームスタッフは着席し、選手への指示等の声掛けは一切できない。
2. 使用球は、男子はミカサ製(V300W)、女子はモルテン製(V5M5000)とする。
ワンボールシステムを採用するので、ボールデッドになったボールの処理は、選手が速やかに行う。ネットの高さは、男子243cm・女子224cmとする。
3. 監督またはコーチは、公益財団法人日本スポーツ協会公認の指導者資格(コーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4)のいずれかを有し、公益財団法人日本バレーボール協会の指導者カテゴリーに有効に登録された者とする。ベンチスタッフは、それぞれの各章を左胸に着ける。
また、スタッフ1名は1チームの所属とし、チーム内で1役職とする。同一チームまたは別チームのスタッフとして兼任はできない。
4. チームは、14歳以下の選手で構成されたヤングバレーボールクラブチームで、選手の年齢基準は、2026年4月2日現在とする。JVAメンバー制度により日本ヤングクラブバレーボール連盟に有効に登録されたヤングクラブ(U-15)チームで、有効に登録された選手・チームスタッフ(相応の年齢)によって構成された責任のとれる成人を代表者とするチームとする。
5. 1チームの人数は、部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー・ドクター各1名と、選手18名の計24名以内とする。
ただし、リベロは最大2名までとする。選手登録が12名以下の場合は0～2名、13名以上場合は2名とする。
競技中、コート上の6人の選手は、同一学校の選手のみとなることは認めない。もし、違反が確認された場合、意図的・意図的でないに関わらず、その時点で没収試合とする。
6. スタッフの服装は、統一されたものを着用する。ただし、本大会においては、Tシャツ等の襟のないものや、短パン、ハーフパンツ、スリッパ等は認められない。統一されていない場合は、ベンチ入りすることができない。
選手のユニフォームは、競技規則に則り、選手全員が統一されたものを正しく着用する。
JVA公認企業以外のものを着用する場合には、予めチームで責任をもってロゴマークが露出しないようにマスキングをする。また、ユニフォームに広告等を付ける場合は、JVA「ユニフォーム規程」および別途定める「ユニフォーム広告に関する規程」に従う。
なお、リベロの服装は、チームの他の選手と主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。
7. 申込後チームスタッフ・選手の変更があるチームは、「変更届(願い)」を、1日目の受付時に提出する。
なお、特に様式は指定しないが、チーム名、記載責任者名、新旧の変更が分かるように記載すること。

8. 試合ごとに「構成メンバー表」は、第1試合は入館受付時、第2試合以降は原則、前の試合の1セット終了までに、大会本部に提出する。試合進行の妨げる原因となるので、速やかに提出する。
なお、ラインナップシートは、監督が各セットの開始前に副審に提出する。
9. 守山市民体育館のコートは、大アリーナはA・B、多目的アリーナをCとする。また、守山中学校は、ステージ側からD・E、守山南中学校は、ステージ側からF・Gとする。
試合順はプログラムに記載しているが、進行の都合上、変更することがある。インターバルや試合開始時刻を含め、放送による指示・案内には、十分注意する。
10. 試合開始時刻は、第1試合のみを設定し、第2試合以降については設定しない。追い込み形式とする。
同一チームの試合が連続する場合は、10分間のインターバルを取る。このインターバルはボールの使用不可とするが、コート上でのウォームアップは可とする。
ただし、選手の健康状態等によって延長したり、進行上の理由により短縮したりすることがある。
11. 試合終了後に、4分間のコート調整時間を設ける。この間は、コート上でのボールは使用不可とするが、ウォームアップは可とする。その後、プロトコールを行う。
プロトコールは、試合開始11分前から開始する。両チームは、合同練習5分間の後、公式練習6分間に入る。
なお、両チームの監督のスコアシートへのサインは、合同練習に入る前（コート調整時）に行う。キャプテンによるスコアシートへのサインとトスは、合同練習時に行う。その後、公式練習に入る。
12. すべての試合は、競技役員の指示に従ってコートインする。特に、試合ごとの入れ替わり時は、指示があるまで待機する。
また、隣のコートにボールが侵入しないようにボールを拾うなど、チームで十分留意する。
13. 競技に不必要なものを、ベンチに持ち込むことはできない。電子機盤（スマホ・タブレット・PC・無線端末）等の使用は禁止する。セット間、タイムアウト中の団扇の使用は、扇ぐ目的でのみ可能であるが、叩いて応援することはできない。
また、スクイズボトルや救急箱は、ベンチの後ろまたはベンチエンド横に置き、競技の妨げにならないように注意する。
ボールケースは、ウォームアップエリアに置かず、公式練習終了後に競技エリア外へ出す。
14. シューズは、体育館用と屋外用とを明確に区別する。
15. ゴミは、各自持ち帰る。また、チームが使用した観覧席の清掃を行い、忘れ物がないように退館する。
16. 本大会にかかわる事項は、大会役員の指示に従う。
17. その他、「体育館使用上の注意」を遵守し、ルールやマナーを守り、節度ある行動を心掛ける。